

『いいもの見つけた!』 1歳児 9月



エピソード

ある日の園庭でキウイを拾ったA児。両手でくるくると回したり、じっと見つめたりして拾ったものに興味津々の様子です。「キウイだね、いいもの拾ったね」と言うと、A児はすぐにそのキウイを砂場のレンジ台に持っていきました。レンジ台の扉をあけ、中に入れて「ピーピーピー」と言いながらスイッチを押すような仕草をし、すぐにキウイを取り出して、迷わず机の上に置いてあったふるいの中にキウイを置きました。そして、「お茶お茶」と言ってコップをさしだし、お茶を入れて欲しいと訴えます。保育者が近くにあった泥水をコップに入れて渡すと、A児はふるいの中にその泥水を入れはじめました。しかし、ふるいなので、水はたまたらず、全て下にこぼれてしまいます。その様子をぼかんとした表情でA児は見っていました。保育者が「あれ!?お茶全部無くなっちゃったね。」と言うと、とても困ったような顔をして、また「お茶お茶」と言ったので、同じように泥水をコップに入れて渡しました。すると今度は、コップの泥水をキウイにかけ、そのキウイをコップの中に入れてくるくると回し、取り出して濡れたキウイをじっと見っていました。

保育者の思い

- ・自分の手で実際に触って感触を味わったり、見たりしながら五感を使って「これはなんだろう」と興味を持ってほしいです。
- ・料理をしているイメージかな?と思いました。A児なりのイメージで遊べるように見守ろうとしました。
- ・実際に自分で水を入れてみて、「あれ?入れたのに水がなくなった」という驚きを大切にしたいと思い、「お茶なくなったね」という具体的な言葉にしてA児に声をかけました。
- ・もしかしてフルーツジュースを作っているつもりなのか?それとも、ただ単にキウイを水の中に入れてくっただけなのか…真相はA児にしか分かりませんが、全ての行動を迷わず行う様子から、何かA児の中で明確なイメージがありそれを再現しようとしているように感じました。

子どもの学びや育ち

- ・これは何だろう?と興味を持って拾って触ったり、A児なりに考えたりしながらやってみたくて思ったことをしようとしています。
- ・手で感触を味わったり、目で見たりしながらどんなものなのか知ろうとしています。
- ・ふるいに水を入れたはずなのに水がなくなった、という驚きは、用具の特徴を知ることに繋がっていきます。
- ・園にあるものからイメージして家で見たり経験したりしたことを再現しようとしています。

家庭だったら

偶然拾ったものや手に取ったものなどを、何かに見立てて遊んでいることがあるかもしれません。それは、お家での体験や見たり聞いたりしたことがきっかけとなっていることも多いのではないのでしょうか。お家の方が普段何気なくしていることを子どもは再現しているのかも、と思って遊びを見てみると、また面白い発見があるかもしれません。